



泰山木

ホームページ <https://bakuro-e.takaoka-school.jp>



夏の思い出

校長 森田 芳栄

長い夏休みが終わりました。けがや事故もなく、元気に2学期を迎えられたことに心から感謝いたします。年々、暑さは厳しくなり、富山県に熱中症警戒アラートが発令された日が33日間で17日もあったことには驚きます。プール開放もやむを得ず中止…。子供たちのため息が聞こえてきそうでした。外で遊ぶこともできなかった子供たちは、この夏、どのように過ごしたのでしょうか。

自分の話で恐縮です。私は海のすぐそばで生まれました。実家は昔よくあった『海の家』をしていて、7月に入った頃からお盆過ぎまで、たくさんの家族連れで賑わいました。海が近いので入り放題・・・と思われるでしょうが、小さいころから家のお手伝いをするのが当たり前で、なかなか入れませんでした。海水浴日和には、いつも以上にお客さんが増えるのですから、友達に海水浴に誘われても断るしかありませんでした。掃除をしたり、食事を運んだり、小学生なりにがんばりました。早朝のラジオ体操も朝食の手伝いがあるので行けませんでした。児童クラブのバレーボールには親に泣きついて何日間かだけは行かせてもらえました。お客さんがいなくなった夕方に兄と海まで全力疾走、そのままザッポーン！という日が、めったにないご褒美でした。自由の少なかった夏休みが楽しみだったのか、楽しみでなかったのか。生まれた時から当たり前でしたし、県外の方に会ったり人が楽しそうにしているのを見たりするのは何となく楽しかったので、自分なりに納得はしていたカタイ子だったと思います。今考えてみると「おしん」みたいだな、と笑えるのですが。こんなわけで、私の夏休みは、我慢することが多かったけれどたくさんの人と出会えた楽しい夏でした。

さて、子供たちも「暑すぎた夏」に、たくさんの我慢をしながらがんばったことと思います。燃えるような炎天下や蒸し風呂のような体育館で、暑さに負けずにスポ少の練習に取り組んだ子、暑い日差しの中、汗をかきながらアサガオやハウセンカなどの継続観察をした子など、感心します。また、毎日欠かさずこつこつと漢字や計算練習に継続して取り組んだ子もたくさんいます。この夏頑張った経験は、きっと自信につながるはずです。その反面、友達と遊べなかったり外で遊べなかったりしたため、することがなく、テレビを見たりゲームをしたりという時間が長くなってしまった子供が多いのでは、と懸念もしています。

2学期が始まりました。「やっぱり学校っていいよね、楽しいよね」—そう思える学校生活を送ってほしいと思っています。たくさんの人との出会いや関わりがたくさん生まれるのが学校のよさです。友達と勉強する楽しさを味わったり、真剣に考えて一緒に悩んだりする姿が見られるようにしていきたいと思っています。2学期も温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

夏休み子どもまつり ありがとうございました！

児童クラブ主催の子どもまつりが8/3(日)に行われました。今年は、子供たちが出店のお手伝いをしたり、3年生が栗づくりのコーナーを担当したりと、地域の方々と一緒に楽しむ姿が見られました。こういった交流が増えると、子供たちの心はさらに豊かになります。ありがとうございました。

